

・2022年11月16日(水) 第2分科会

高機能ASD者のソフトスキル支援

—就労移行支援事業所におけるBWAP2アセスメントの実践から—

- 砂川 双葉（特定非営利活動法人クロスジョブ クロスジョブ堺）
- 梅永 雄二（早稲田大学 教育・総合科学学術院）
- 濱田 和秀（特定非営利活動法人クロスジョブ）

(1) 本発表の目的

- 高機能ASD者の就労問題は、仕事そのものの能力であるハードスキルより日常生活や余暇などのソフトスキルの問題が上回っている(梅永、2018)。
- 就労支援と同様に生活支援も必要である。
- BWAP2を用いたアセスメントを通じて、就労移行支援事業所で実施したソフトスキルの支援、生活面の支援が就労支援の土台になることを検証する。

(2) BWAP2とは

- ベッカー職場適応プロフィール

(Becker Work Adjustment Profile=BWAP)の改訂版。

- 実際の仕事を行っている様子を観察して、ハードスキル、ソフトスキルのアセスメントが出来る。

- 仕事の習慣／態度 (HA) 10項目
- 対人関係 (IR) 12項目
- 認知能力 (CO) 19項目
- 仕事の遂行能力 (WP) 22項目

〈 検査結果 〉

各領域と4領域を合わせた「総合的職場適応能力 (BWA)」で評価される。

(3) 事例

- ナナミさん(仮名)、20代、女性。精神保健福祉手帳3級を所持。
- 自閉症スペクトラム。妹と二人暮らし。
- 四年制大学を卒業後、一般企業(介護職)に就職。
- 臨機応変な対応が苦手、スピードの遅さ、指示理解が難しくても、周囲の多忙な状況に遠慮をして相談が出来なかった。
- 欠勤はないが、腹痛などの訴えで勤務中に30分程度の休憩が必要な状態。
- 上司の勧めで受診。ASDの診断、手帳取得に至る。
- 「地域生活支援センター」のサポートを受けて就労移行支援事業所の利用に繋がる。

(4) ナナミさんのBWAP2の結果

	粗点	Tスコア	パーセン タイル値	ワーク プレイスメント	ワーク サポート
HA	28	53	62	福祉就労(高)	C
IR	30	62	88	就労移行	A
CO	65	62	88	就労移行	A
WP	76	67	95	一般就労	A
BWA	199	66	94	就労移行	A

※ワークプレイスメント：現在の職業能力レベル

※ワークサポート：職場での支援

(5) 検査結果の読み取り

- 全体的に高いレベルの検査結果になったが、HAは「福祉就労(高レベル)」となっている。
- HAの下位検査では、「1. 衛生面」の項目で2点、「2. 適切な服装」、「3. 身だしなみ」の項目において1点となり、基本的な仕事習慣における支援が必要であることが分かった。具体的には寝癖やシャツのシワがある、第二ボタンまで開襟しているため胸元が開きすぎているなど。
- WPの下位検査では、「8. 必要な援助要請」、「17. 仕事上の体力」の項目がそれぞれ2点であった。全体評価は「一般就労レベル」を示していたが、前職の離職理由と関連する項目で低い得点結果となっている。
- 幕張版ワークサンプルはミスなく課題に取り組んでおり、作業における信頼度は高い。

(6) 生活面のアセスメントと支援

本人の思い

- 身だしなみが整っていないなくても他者に迷惑をかけていない。整髪など、なぜ必要？

生活面の実態

- 各種支払いの滞納。洗濯物の放置。
- 経済的な不安から食事を制限している。⇒体調不良

支援と結果

- 生活における支援は「地域生活支援センター」に依頼。
- 収支の把握⇒母親に援助を依頼。失業保険の手続き。
- 食事は1日3食に。⇒体調の安定。
- ワクチン接種の予約、会場までの同行⇒安心感。
- 生活の土台が固まったことで、改めて就労に向けての課題を確認。
- 就労移行支援事業所で、支援者と一緒に身だしなみ練習。

(7) 援助要請のアセスメントと支援

- 前職の振り返りを通じて・・・



- 誰に、何を、どの様に伝えればいいのか分からなかった。
- 困ったことがあっても我慢をした結果、気持ち的な負担が大きくなり、身体面にも影響が出ていたかも。

支援と結果

(作業面)

- 定形の文言を決めて報告の練習。
- 相手との距離（腕一本分）
- クッション言葉

(作業面以外の相談)

- 面談前に「書き出しシート」を記入して、自分の話したいことを準備。
- 読みながら相談を行う。

- 報告のルールを決めたことで、伝えやすさが向上。
- 練習で「出来た」を積み重ねたことで自信に。
- 「書き出しシート」の記入を通じて、面談前から話す準備が出来る。落ち着いて話しが出来る。
- 主体的に面談に参加が出来る。

(8) 考察

- 就労移行支援事業所は通所型の福祉サービス。
- 利用者の生活実態が掴みにくい。
- 就労継続のためには心身の安定、生活基盤の安定が必要。
- 就労移行支援事業所で出来ること、出来ないことを整理し、地域にある他の福祉サービスと連携することが就労分野の支援効果を高めることにも繋がる。
- 幅広い社会資源の連携が必要になる。

(9) 参考文献

- 1) 梅永雄二・井口修一(2018)アスペルガー症候群に特化した就労支援マニュアルESPIDD -職業カウンセリングからフォローアップまで,明石書店
- 2) 梅永雄二(2021)発達障害の人の就労アセスメントツール: BWAP2 〈日本語版マニュアル&質問用紙〉,合同出版
- 3) 砂川双葉: 第29回職業リハビリテーション研究・実践発表会発表論文集p.126-127 (2021)